

2022年7月25日
株式会社京葉銀行



「CHIBA SDGs Parklet Project」を開催しました！

～京葉銀行はイベント開催を通じた地域課題解決に取り組んでいます！～

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ（代表理事 鳥海 孝範）、株式会社レプコ（代表取締役社長 野本 茂雄）、塚本総業株式会社千葉支社（千葉支社長 平野 裕一）とともに食品ロスをはじめとした地域課題を一丸となって解決することを目指す、「CHIBA SDGs Parklet Project 実行委員会」を立ち上げ、7月22日（金）、第1回目の「CHIBA SDGs Parklet Project」を開催しましたのでお知らせいたします。

【イベント概要】

開催日	2022年7月22日（金）	
開催時間	11:30～20:00	
会場	京葉銀行本店営業部前（千葉市中央区富士見 1-11-11）	
主催	CHIBA SDGs Parklet Project 実行委員会 京葉銀行、野菜がつくる未来のカタチ、レプコ、塚本総業千葉支社	
後援	千葉市、バイエフエム	
協力	千葉大学環境 ISO 学生委員会	
出店内容	チバベジ（野菜がつくる未来のカタチ）	規格外・訳ありを含む野菜や加工品などの販売
	今日和（レプコ）	パニーニなどの販売
	有野実苑	けずりイチゴ、ビールなどの販売
	エンジェルキッチン	フィリピン料理、ビールの販売
	COCO Bread	パン各種の販売
	石井食品	スムージーなどの販売
	千葉大学環境 ISO 学生委員会	古着のリサイクル販売
来場者数	469人	レジ通過人数、出店者合計（申告ベース）
食品ロス削減量	約74kg	出店者合計（申告ベース）
フードドライブ	約7kg	寄付された総量

【目的】

食品ロス問題に向き合い、規格外野菜の販売や、規格外野菜を活用した料理・加工品などの販売を行うことに加え、駅前大通りがまちの顔として、人々が歩いていて楽しい、居心地が良いと思えるような活力を取り戻すべく、キッチンカー販売や、飲食スペースを設置しました。

さらには、ご来場された方が日頃感じている地域の課題を気軽に投書いただける「目安箱」や、家庭やオフィスで余っている食料品を募り寄付する「フードドライブ」の設置、千葉大学環境 ISO 学生委員会との連携による古着のリサイクル販売など、食品ロス問題に限らず広く地域課題の解決を図る取り組みを行いました。

【当日の様子】

当日は、準備中雨に降られるもイベント開始時には晴天となり、多くの人が足を止め、買い物や食事を楽しまれました。なお、次回開催は10月頃を予定しています。



当行は、今後も定期的に本プロジェクトを通じたさまざまなイベント等を開催することにより、地域課題の解決に継続して取り組んでまいります。

以 上

	<p>京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。</p> <p>【SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】 2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。</p>
---	---